



レインボーネット

Rainbow Net

れいんぼー Topics

法人設立10周年を迎えました!

設立10周年記念式典



NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット（通称：レインボーネット）は、平成30年6月26日（火）休暇村陸中宮古において、法人設立10周年記念式典・祝賀会を開催し、盛大に終えることができました。

ご臨席を賜りました皆様方におかれましては、ご多用中のところ、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

今日の当法人があるのもひとえに、ご利用者・ご家族の皆様をはじめ、当事者団体及び関係機関等の皆様方の暖かいご支援とご協力があったからこそと、あらためて感謝申し上げます。

今後におきましても、官民協働のネットワークを活かし、圏域市町村と一体となって、障がいのある方々のニーズに幅広く対応して多様な事業を展開し、障がい福祉の推進に寄与してまいりますので、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。（文責・盛合）

目次 CONTENTS

●れいんぼーTopics	1	●10年のあゆみ	10～11
●ごあいさつ、祝賀会・式典	2～3	●平成29年度事業報告・決算	12～14
●ご祝辞 法人設立10周年を記念して	4～5	●平成30年度事業計画・予算	15
●10周年に寄せて	6～9	●なんでもKEIJIBAN、編集後記	16

注)法律や制度に基づく固有名詞及び引用文は「障害」と表記し、それ以外は「障がい」と表記しています。

10周年を迎えてのごあいさつ

特定非営利活動法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット 会長 刈屋 裕之



私どもレインボーネットが法人格を取得してから10年という月日が経過し、記念の式典を開催することができました。

これまでの関係機関、諸先輩方、広く地域の方々のご理解とご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

また、年々増え続ける相談、支援の件数を少ない職員の皆様がよく頑張っただけで対応してくれていることにも、心から敬意を表したいと思います。

「本当にありがとうございます。そして、ご苦労様。」

この職員皆の、笑顔が私の自慢です。

話は変わりますが、皆さんもご存じの歌手「さだまさしさん」

が言いました。

『サッカーの国際大会で、国歌の斉唱をしました。ふと、この歌を外国の人たちに説明しようと考えたときに、天皇ということを持ち込まずに考えたとき、これは「あなたが永遠に幸せでありますように」と、読み解くしかないのだ。そして、こんな国歌を国民の皆が歌い続けている国はないのです。ほとんどの国の国歌は、立ち上がれ・敵を倒せ・自由を勝ち取れと皆を鼓舞するものなのです。誰かの幸せを祈る国歌を歌い続けている、私たちはそんな国にいるのです。』と。

心ならずも障がいを持ってしまった人、明日障がいを持つことになるかもしれない人、みんなが、助け合って、いたり合ったり明日からもこれまで通り、レインボーネットの活動、相談、支援を続けて参りますので、今後ともこれまで同様に変わらぬ

ご支援をいただきますようお願いいたします。10年の区切りにあたりましてのごあいさついたします。





式典開会の言葉



講演会講師 菊本圭一さま



講演会の様子



被表彰者の皆さん



来賓の方々



祝賀会 乾杯



祝賀会



式典閉会の言葉



太鼓演奏 恵風太鼓



太鼓演奏 恵風太鼓



祝賀会 スライドを見ながら

ご祝辞

法人設立10周年を記念して

宮古圏域障がい者福祉推進ネット、法人設立10周年を祝して、宮古圏域市町村長、自立支援協議会会長よりご祝辞をいただきました。



宮古市長
山本 正徳

この度、法人設立10周年を迎えられたことに對しまして、心よりお慶びを申し上げます。

平成18年の障害者自立支援法の施行に伴い、障がい福祉サービスにおける障害種別の一元化や施設・事業体系の大幅な再編、地域生活や就業支援の強化、サービス支給決定の透明・明確化が図られるなど、障がいのある方々を取り巻く環境が大きく変化しております。そのような中において、平成20年の法人設立以来、特定非営利活動法人として、一貫して中立・公平の立場に徹し、多種多様な事業に邁進してこられましたことに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

当市においては、今年度からの3年間を計画期間とする第5期障がい者福祉計画及び第1期障がい児福祉計画を策定したところであり、今後とも貴法人と綿密に連携を図りながら、より一層の障がい者福祉の推進に取り組んで参ります。

結びに、貴法人の益々のご発展と、関係各位のご健勝を心からお祈りし、お祝いの言葉いたします。



山田町長
佐藤 信逸

特定非営利活動法人宮古圏域障がい者福祉推進ネットが法人設立10周年を迎えられましたことに對し、心よりお慶び申し上げます。

貴法人の歩みを見ますと、平成12年3月の任意団体「知的障害児(者)福祉推進協議会」の発足から始まっており、平成20年4月にはNPO法人となり宮古圏域の市町村から「宮古圏域障がい者自立支援協議会事務局」や「宮古地区生活支援事業」を受託されております。

日ごろより、障がいの者の誰もが安心して生活できる地域づくりの実現のため、相談支援や活動支援、理解促進等にご尽力いただいておりますことに對し、心より感謝申し上げます。

結びに、法人設立10周年を迎えられこれまでご発展を遂げられた関係者の皆様的情熱に敬意を表しますとともに、貴法人の今後益々のご活躍と、関係者の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



岩泉町長
中居 健一

特定非営利活動法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット設立10周年を迎えられることに対しまして、心からお祝い申し上げます。

貴法人におかれましては、平成12年の任意団体「知的障害児(者)福祉推進協議会」の発足以降、宮古圏域の障がい者支援の拠点としてご尽力いただいております。

平成20年のNPO法人格取得後におきまして、宮古圏域の相談支援事業、地域活動支援センター事業を始めとする事業を受託いただき、幅広い障がい者福祉事業に取り組みられているところであります。社会資源の乏しい当町におきましては、貴法人の果たす役割は非常に大きなものであると認識しております。

障がい者福祉を取り巻く状況は年々変化しておりますが、今後におきましても障がい者の誰もが安心して生活しやすい地域づくりの実現を目指して、協働して参る所存であります。貴法人が宮古圏域の障がい者福祉のネットワークの中心として益々発展されますことをご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



田野畑町長
石原 弘

この度、「特定非営利活動法人宮古圏域障がい者福祉推進ネットNPO法人レインボーネット」が、設立10周年を迎えられ、記念誌が発刊されましたこと、衷心よりお慶び申し上げます。

貴法人では、平成12年3月には任意団体「知的障害児(者)福祉推進協議会」(通称・レインボーネット)、平成15年11月には三障害統合に対応するため、任意団体「宮古圏域障がい者福祉推進ネット」を発足し、平成20年4月にはNPO法人格を取得され、今日まで障がい者のニーズに応えて、着実な事業の拡充に努めてこられました。

本村は、平成30年3月に「第5期 田野畑村障がい者福祉計画」及び「第1期 田野畑村障がい児福祉計画」を策定しました。その中でも田野畑村総合計画に掲げる基本方針『持てる能力を十分に発揮できる社会参加を支援します』を理念とし、障がいのある人への理解や対応だけでなく、地域社会の一員として「共に生きる」という意識の向上が必要であると考えております。

どうか、設立10周年を契機として、さらに一致協力され、障がい者福祉の充実のため、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。終わりに、今後益々のご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉と致します。

宮古圏域障がい者自立支援協議会 会長

中村 公一

沿岸広域振興局保健福祉環境部
宮古保健福祉環境センター 福祉課長



特定非営利活動法人宮古圏域障がい者福祉推進ネットの設立10周年に当たり、心からお祝い申し上げます。

貴法人におかれましては、設立後、平成23年の東日本大震災津波、平成28年の台風第10号災害といった大規模な災害に際し、大変な状況の中で支援の継続のため様々な対応を行い、復旧、復興に御尽力されましたことについて、敬意を表します。

また、貴法人が事務局を担っている当協議会では、圏域における障がい者等の支援体制に関する課題について情報を共有し、地域で暮らす障がいのある方々のニーズを共有するために、関係機関との連携強化を図り、各部会等で活発な活動が行われております。

県では、平成30年3月に新しい「障がい者プラン」を策定し、障がい者一人一人が、地域の人たちと共に支え合う仲間としていきいきと暮らし、幸福を実感できる社会の実現を目指し、様々な取組を進めていくこととしております。

貴法人におかれましては、引き続き、障がい者施策の推進に御協力いただきますことを期待申し上げますとともに、貴法人のますますの御発展と、従業員の皆様の御健勝、御活躍を祈念いたします、お祝いの言葉といたします。



レインボーネット理事
(特定非営利活動法人きぼうハウス理事長)
泉山 博直氏

障がい者に関わる人の多くはその関係者。社会的に少数の方々だけでなく、多くの方に関心を持ってもらう。いや障がいを持つ人たちが幸せに生きられるよう、祈ってもらえるだけでも世界が変わるかもしれません。



レインボーネット理事
(山田町身体障害者協議会会長)
佐藤 多智男氏

私はレインボーネット設立当初から参加してまいりました。10年経つのは早いものだと思っております。これからさらに15周年20周年と続くようお祈りいたします。



レインボーネット理事
(社会福祉法人若竹会障がい部門統括)
山崎 実氏

多くの方々に支えられ、官民共同のネットワーク「レインボーネット」は、確実に躍動しています。この間の実績を礎に更なる活躍が期待されています。宮古圏域の協働関係の更なる拡大をもって、最近の流行語「共生社会の実現」を図るイノベーションを宮古から発信しましょう。



初代事務局長
伊藤 洋氏

法人設立10周年おめでとうございます。設立に携わったことを誇りに思い、今後も貴会の実践を後進に伝えて参ります。



宮古市養護老人ホーム清寿荘
院長 **葛 浩史氏**

官民有志の力で平成15年に発足した宮古圏域の障がい者福祉ネットワークが、NPO法人として障がい者の地域を支えてきたこの10年が、20年・30年…と、続くよう期待しています。



前事務局長 **瀬川 康平氏**

レインボーネット法人設立10周年お祝い申し上げます。

障がい者福祉の基点として更なる活躍を祈念しています。



寄せで
支えてくれた
関係機関の
エール!!
Part I

10th ANNIVERSARY

10周年に
寄せて



社団医療法人新和会宮古山口病院
看護部長 白根 ハマ 氏

この度は法人設立10周年を迎えられ、誠におめでとうございます。これも法人皆さまのご活躍の賜物と敬意を表します。私ごとですが、これからも微力ながら医療と福祉の連携においてご協力させていただきたいと思っております。



医療法人財団正清会三陸病院
医療福祉連携室係長
芳賀 志津子 氏

ご本人の希望に沿って、いつも丁寧で細やか、そしてパワフルな支援をありがとうございます。電話対応も温かく爽やか。利用者の方々と一緒に支えてくれる、当院のスタッフの頼もしい支援者です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



岩手県立宮古恵風支援学校
校長 下平 弥生 氏

法人設立10周年おめでとうございます。私たちにとってかけがえのない存在です。地域に暮らす皆の幸せのため、これからも共に歩んでいきましょう。



松本法律事務所
弁護士 松本 良啓 氏

福祉職と法律職の連携がこれほど盛んな地域は、そうないと思います。この10年間の取組に敬意を表します。



宮古身体障害者福祉会
会長 高橋 智 氏

10周年おめでとうございます。卓球バレーの楽しさを圏域に広げよう！今後も一緒に取り組んでいきましょう。

10周年に
レインボーネット
当事者・家族・
みなさまから





精神保健福祉ボランティア 帆っこの会
中道 勝子氏

10周年おめでとうございます。卓球等のスポーツ、様々な活動を当事者の皆さんと和気あいあい楽しんでいます。これからも活動を継続してまいりたいと思います。



精神保健福祉ボランティア
フレンド
福島 登美枝氏

私自身、沢山の出会いとご支援をいただき、大変感謝いたしております。

支援活動は、安心して集まれる事を大事にしております。より一層一緒に学び、支え合いたいと思います。

寄せで を支えてくれた 関係機関の のメール!! Part II



精神保健福祉ボランティア ほたるの会
内村 洋子氏

私たちも活動を長く続けてきたことで、気心が知れた仲間ができました。当事者さんが笑顔になれる瞬間を大切に、これからもよろしくお願ひします。



御利用者様 伊東氏

精神は、先生や薬にまかせるのではなく、自分でたしかめ直す努力も必要。その上で、はあとふるセンター(レインボーネット)はおすすめ。生活習慣や、自分で出来る事も多い。



ハックのサポートセンター
相談支援専門員 村田 幸雄氏

10年一区切り、今後も障がいがある方やその家族の方々の希望する暮らしの実現に向けて、共に、一歩ずつ。



御利用者様家族
三浦 正成氏

10周年おめでとうございます。家族の思いを斟酌した職員の熱心なご指導のお蔭で、娘が一般就労できました。



自立生活支援センターウイリー
所長 山木 一英氏

法人設立10周年おめでとうございます。
皆様の福祉充実に対する情熱に敬意を表し、さらなる飛躍を期待しております。



宮古アビリティセンター
サービス管理責任者
狩野 雅弘氏

貴法人のこれまでのご功績に敬意を表し、今後の更なるご繁栄を心よりお祈りいたします。



盛岡広域圏障害者地域生活支援センター
代表 工藤 宏行氏

地域に既存の枠を超えた連携を創る先進的な活動に敬意を表し、法人設立10周年おめでとうございます。



社会福祉法人カシオペア障連
理事長 一戸 舒也氏

この度は法人設立10周年おめでとうございます。今後ますますのご活躍を心よりお祈りいたします。



一関障害者生活支援プラザ
相談支援専門員 小野寺 伸氏

10周年おめでとうございます。県内の相談支援の中枢としても、一層のご発展を祈念しております。



障害者地域生活支援センター しんせい
所長 八重嶋 幸子氏

レインボーネット設立10周年おめでとうございます。岩手の障がい福祉の先駆的機関として、また、利用者本位の障がい福祉サービスの開拓者として、今後も活躍を期待しています。



あゆみ

思い出しでござらん〜



アレンちゃん



飛澤会長に感謝する会
主催：NPO法人 宮古圏域障がい者福祉推進ネット

ふれあい列車
はあとふる号出発
2014.11



飛澤会長!!
いつもありがとうございます!



2017年～ 17名に増えました



2015年
農福連携の取り組み
開始



権利擁護部会
初めての寸劇に挑戦!
次は私も出たいなあ...



私が主役です!

はあとふるフェスタ♥



ALOHA~

各セミナー、研修会には
手話、要約筆記もお願いしています!



10年の

トリ〜つのこと〜だか〜



高次脳機能障がい
の取り組みも進めます

ピュアハートの皆さん
2012年〜2016年まで
コンサートで訪問いただきました♪



年1回開催される総会。
会員の皆様のご意見を伺える
貴重な機会です!



2009年 レインボーだよ全員集合!!



自立支援協議会の
事務局も大事な
お仕事!



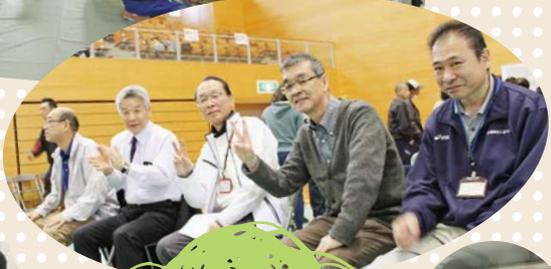
スポーツ交流会



あんべ光俊さん、松本哲也さんにも
歌のプレゼントいただきました♪



レインボーネットには
毎年サンタさんがくるよ!



ナイスミドル
チーム、
すてき〜☆



地活も
毎年もりだくさん☆
地域活動支援センターみやこ



2017年 車いす対応の車 導入



平成29年度 事業報告・決算

Ⅰ 法人運営の関係

- 会員総数 135人 (団体)
- ◇ 正会員 95人 (団体)
- ◇ 個人会員 67人・団体会員 28団体
- ◇ 賛助会員 40人 (団体)
- ◇ 個人会員 33人・団体会員 7団体

■ 総会・理事会・運営委員会の開催及び会計監査の実施

- ◇ 総会 (1回開催)
- ◇ 理事会 (4回開催)
- ◇ 運営委員会 (3回開催)
- ◇ 会計監査 (4回実施)

■ 広報事業

- ◇ 機関紙「Rainbow Net」の発行 (2回 / 第24号・第25号)

Ⅱ 受託事業の関係

■ 宮古圏域障がい者自立支援協議会の運営 (宮古圏域4市町村からの受託事業)

- ◇ 宮古圏域障がい者自立支援協議会 (親会) (3回開催)
- ◇ 専門部会の開催
 - ・ 実務担当者会議 (10回開催)
 - ・ 生活支援部会 (6回開催)
 - ・ 権利擁護部会 (6回開催)
 - ・ 精神保健部会 (6回開催)
 - ・ 発達支援部会 (6回開催)

■ 宮古地区地域生活支援事業の実施 (宮古圏域4市町村からの受託事業)

- ◇ 障がい者相談支援事業
 - ◇ 年間の相談支援延べ件数 12,592件
- (※前年度 10,015件)

- ◇ 地域活動支援センター1型事業
- ◇ 年間の延べ利用者数 2,7997人
- (※前年度 2,767人)
- ◇ 宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議の開催 (4回開催)

■ 障害支援区分認定に係る訪問調査の実施 (契約市町村からの受託事業)

- ◇ 実施件数 宮古市 55件 山田町 6件 田野畑村 8件 圏域外 1件

■ サービス等利用計画の作成業務

- ◇ 計画作成 (契約) 件数 574件
- (モニターリング回数 964件)

■ 若手県地域生活支援広域調整会議等事業の実施 (若手県からの受託事業)

- ◇ 地域委員会 (6回開催)
- ◇ 精神科病院等からの地域移行者 4名

Ⅲ 自主事業の関係

■ 各種イベント等の実施

- ◇ 宮古圏域障がい者スポーツ交流会
 - ・ 5月18日
 - ・ 宮古市民総合体育館
 - ・ 参加者 311名
- ◇ 競技・ソフトバレー、スカットボール、輪投げ、PKゲーム、体力測定



スポーツ交流会

- ◇ はあとふるフェスタ 2017 (であいふれあい・ささえあい)
- ◇ 10月8日 宮古市末広町商店街 (花の木通り)

あおぞらギャラリー、お祭り広場、路上イベント



はあとふるフェスタ 2017

■ 高次脳機能障がい者支援事業

- ◇ 連絡会の開催 (2回開催)
- ◇ 家族教室の開催 (3回開催)

■ セミナー・研修会等

- ◇ 発達障がい学習会 (発達支援部会)
- ◇ 第1回 6月10日 シートピアなど
- ◇ 参加者 200名

テーマ

自閉症スペクトラムと教育と支援の「かんどころ」

講師 NPO法人PDDサポートセン

ター・グリーンフォーレスト

理事長 笹一誠氏

- ◇ 第2回 2月17日 宮古市民総合体育館
- ◇ 参加者 36名

講師 発達障がい沿岸センター

副所長 田代拓之氏

指定相談支援事業所サポートにじ
管理者 小川博敬氏



発達障がい学習会

◇地域生活支援セミナー (精神保健部会)

・8月24日 陸中ビル 参加者65名

テーマ 「地域生活へ進め」 ～地域で暮らす価値の再考～

講師 一般社団法人障がい者福祉支援人材育成研究会

理事長 山田優氏

◇そだちの相談会 (発達支援部会)

・3回開催 はあとふるセンターみやこ個別相談16名

講師 みちのく療育園

小児科医 川村みや子氏

◇宮古圏域障がい者自立支援協議会研修会

・10月3日 宮古市民文化会館

参加者78名

テーマ 相談支援が地域で必要とされる

ために～相談支援の本質とは～

講師 日本相談支援専門員協会

顧問 福岡寿氏

◇宮古圏域地域委員会研修会 (岩手県委託事業)

・11月22日 陸中ビル 参加者43名

テーマ 「精神科医療と開かれた対話オープンダイアローグの試み」

講師 岩手医科大学医歯総合研究所・政策研究部門教授 末安民生氏

◇相談支援スキルアップセミナー (生活支援部会)

・11月28日 休暇村陸中宮古 参加者65名

テーマ 高次脳機能障がいとは

講師 栃内第二病院主任臨床心理士 山舘圭子氏

◇権利擁護セミナー (権利擁護部会)

・12月5日 宮古市民文化会館 参加者116名

テーマ 「劇で知る身近な法律」 ～「障がい」も「高齢」も心配ないさー～

寸劇による問題事例の紹介と弁護士による解説



自立支援協議会研修会

◇チャレンジドフォーラム (生活支援部会)

・2月7日 休暇村陸中宮古 参加者63名

テーマ 宮古圏域型農福連携について考える

講師 農林水産省農林水産政策研究所

企画広報室長 吉田行郷氏

■障がい当事者等に関わる懇談会等

◇なないろ茶話会

・シートピアなあと他4回開催 参加者47名

内容 子育ての悩みや困りごとについて、お茶を飲みながら自由にお話をする会

◇はあとふる懇談会

・11月24日 宮古恵風支援学校 参加者31名

テーマ 重度重複障がい児の快適な日常生活について

講師 宮古第一病院

作業療法士 菅野真氏

言語聴覚士 畠山耀平氏

◇地域懇談会

・山田町 7月26日 望みの園はまなす

参加者73名

内容 ①卓球バレー、スカットボールスポーツ交流会

②懇談～望みの園はまなすの紹介と施設が抱える課題について



農福連携 農作業体験

◇障がい当事者団体等ネットワーク会議
 ・第1回 7月28日 宮古市総合福祉センター 参加者17名
 内容 第5期障害福祉計画策定に係る意見交換
 ・第2回 3月20日 宮古地区合同庁舎 参加者12名
 内容 活動報告、次年度の活動計画



地域懇談会

・田野畑村 8月23日 ハックの家 参加者50名
 内容 ①ハックの家見学・紹介
 ②懇談〜地域でのハックの役割、今後の展望について
 ・岩泉町 10月12日 岩泉町民会館 参加者48名
 内容 ①実践報告 災害派遣チームの取組、災害ボランティアの取組など
 ②懇談〜岩泉町の今後の町づくりについて考える〜台風被害を乗り越えて
 ・宮古市 12月6日 宮古市総合福祉センター 参加者68名
 内容 ①実践報告「障がいの就労について」
 ②懇談〜障がい者就労について考える

【レインボーネット 平成29年度 決算報告】

●活動計算書

収益の部

科 目	金額 (円)
受取会費	230,500
受取寄附金	0
受取助成金	0
事業収益	76,189,480
宮古地区地域生活支援事業等	57,300,000
相談支援事業	18,435,280
認定調査事業	304,200
地域生活支援広域調整会議等事業	150,000
その他収益	117,720
受取利息	120
雑収益	117,600
経常収益計①	76,537,700

費用の部

科 目	金額 (円)
事業費	71,721,904
人件費	24,671,112
その他経費	47,050,792
管理費	5,627,494
人件費	2,409,593
その他経費	3,169,901
減価償却費	48,000
経常費用計②	77,349,398
当期経常増減額 ①-②=③	▲811,698
固定資産除去損 ④	0
税引前当期正味財産増減額 ③-④=⑤	▲811,698
法人税、住民税及び事業税 ⑥	82,000
当期正味財産増減額 ⑤-⑥=⑦	▲893,698
前期繰越正味財産額 ⑧	11,878,136
次期繰越正味財産額 ⑦+⑧	10,984,438

●貸借対照表

(単位：円)

【資産の部】	
流動資産	17,973,697
現金預金	13,615,006
未収金	3,947,677
前払費用	309,850
立替金	101,164
固定資産	3,187,573
什器備品	24,004
退職給付引当資産	3,163,569
資産の部合計	21,161,270

【負債の部】	
流動資産	7,013,263
未払金	6,677,917
預り金	253,346
未払法人税等	82,000
固定負債	3,163,569
負債の部合計	10,176,832
【正味財産の部】	
前期繰越正味財産額	11,878,136
当期正味財産増減額	▲893,698
正味財産合計	10,984,438
負債及び正味財産合計	21,161,270

平成30年度 事業計画・予算

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット（レインボーネット）では、障がいをお持ちの方の豊かな暮らしの実現に向けて、今年度も各種事業に取り組みます。

【重点目標】

- ◎計画相談支援等を推進するため、基幹相談支援センターとして地域の障がい者等の相談支援体制の連携・強化に努めます。
- ◎障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの趣旨を踏まえ、障がい者の権利擁護の推進に努めます。
- ◎障がい者の地域移行希望等調査結果の活用を図るなど、入所施設や精神科病院からの地域移行の推進に努めます。
- ◎地域活動支援センター事業の充実を図るため、市町村や当事者のニーズに対応した取り組みの推進に努めます。
- ◎法人設立10周年の節目を祝う記念事業を実施し、これまでの歩みと活動を振り返り、「共生社会」の実現に向け、時代に則した相談支援事業所として更なる地域福祉の推進に努めます。

【Ⅰ 法人運営の関係】

(1) 法人の公正中立で適正な運営に取り組みます。

- ・総会（1回開催）

- ・理事会（3回開催）

- ・運営委員会（3回開催）

- ・会計監査（4回実施）

(2) 会員等に対する情報発信に取り組みます。

- ・ホームページを活用した情報提供
- ・機関紙「Rainbow Net」の発行（第26号・第27号）

- ・社会資源ガイドまっぴ、地活だより、各種イベントチラシの配布

(3) 法人設立10周年記念事業を実施します。

- ・記念講演会、記念式典及び記念祝賀会の開催

【Ⅱ 受託事業の関係】

(1) 宮古圏域4市町村から委託された宮古地区地域生活支援事業等を適切に実施します。

- ・基幹相談支援センター事業（相談支援事業、基幹相談支援センター等機能強化事業、住宅入居等支援事業、障がい者虐待防止センター事業）

- ・地域活動支援センター事業（基礎的事業、機能強化事業）

(2) 宮古圏域障がい者自立支援協議会の適正な運営に取り組みます。

り組みます。

- ・圏域協議会、実務担当者会議、生活支援部会、権利擁護部会、精神保健部会、発達支援部会の定例会の開催

- ・講演会、セミナー等の開催（専門部会等の主催で実施）

(3) 岩手県から委託された岩手県地域生活支援広域調整会議等事業を適切に実施します。

- ・地域委員会の開催
- ・勉強会の開催

【Ⅲ 自主事業の関係】

(1) 高次脳機能障がい者支援事業

- ・連絡会、家族教室、講演会、研修会を開催します。

(2) 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援、障害支援区分認定調査に取り組みます。

(3) 障がい当事者・家族・関係機関・地域住民の親睦を深める事業

- ・宮古圏域障がい者スポーツ交流会、はあとふるフェスタ2018を開催します。

(4) 各種ネットワークの拡充と連携強化に努めます。

- ・障がい当事者団体等ネットワーク、障がい福祉サービス事業者連絡会との連携、宮古圏域障がい児・者相談支援連絡協議会を開催します。

【平成30年度・活動予算書】

収益の部

(単位:千円)

科 目	金 額
受取会費	240
受取寄附金	1
受取助成金等	0
事業収益	75,750
宮古地区地域生活支援事業等	57,300
相談支援事業	18,000
認定調査事業	300
地域生活支援広域調整会議等事業	150
行事会費収益	250
その他収益	151
経常収益計 ①	76,392

費用の部

(単位:千円)

科 目	金 額
事業費	72,297
人件費	25,209
その他経費	47,088
管理費	6,495
人件費	2,512
その他経費	3,959
減価償却費	24
経常費用計 ②	78,792
当期正味財産増減額 ③=①-②	▲2,400
前期繰越正味財産額 ④	10,984
次期繰越正味財産額 ③+④	8,584

なんでも KEIJIBAN

平成30年度
第1回 宮古圏域発達障がい学習会

日時 7月14日(土)

①第一部

事例検討 10時～12時

②第二部

公開講座 13時～15時

会場 陸中ビル 3階大会議室

テーマ 「これまでの自閉症臨床の覚書」

講師 NPO法人PDDサポート

センター・グリーンフォーレ

スト理事長 篁 一誠氏

定員

①50名

②150名

福祉関係、教育関係、医療関係等

興味がある方どなたでも

参加費 無料

高次脳機能障がい者家族教室

日時・会場

①7月24日(火) 10時～12時

宮古市総合福祉センター・伝承室

②10月23日(火) 10時～12時

山口公民館

内容

①社会資源を知る

②ヨガ(講師 ヨガインストラクター 山下和美氏)

地域懇談会

宮古圏域の各市町村を会場に、地域懇談会を開催いたします。

日時・会場

◇田野畑村

8月31日(金) 13時～16時

田野畑村アズビィ学習センター

◇岩泉町

9月27日(木) 13時～16時

岩泉町民会館

◇宮古市

12月(予定) 宮古市総合福祉センター

内容 だれもが安心して暮らせる

地域づくりについて考えてみましょう

【第一部】

講演

講師 内閣府地域活性化化道師

志村尚一氏

【第二部】

懇談会→グループに分かれ懇談会

権利擁護セミナー

日時 12月上旬(予定)

内容 「寸劇と解説」

一般市民等を対象に成年後

見制度及び障がい者虐待防止

法の理解促進、普及啓発活動

を目的に開催

会場 宮古市民文化会館



平成29年度 権利擁護セミナー

宮古圏域発達支援セミナー

日時 12月24日(月)

会場 陸中ビル3階 大ホール

内容 講演会 自閉症スペクトラム

10人に1人が抱える「生きづらさ」の正体とその支援

講師 信州大学医学部附属病院

子どものこころ診療部部长

本田 秀夫氏



講師

信州大学医学部附属病院
子どものこころ診療部部长
本田 秀夫氏

問い合わせ先 レインボーネット事務局

TEL 0193-64-7878

FAX 0193-77-3921

編集後記

平成30年度も早3ヶ月が過ぎ、毎日暑い日が続いています。皆さんお元気でお過ごしでしょうか？

さて、今年度、レインボーネットは法人設立10周年を迎え、今回の機関紙も10周年記念の内容となっています。編集するにあたり、数年分の写真を見ながら改めて振り返ってみると、色々なことが懐かしく思い出され、つつい時間忘れて楽しんでしまいました。

この10年の間には、震災など、辛い経験もありましたが、それでも沢山の方達との出会いがあり、皆さんに支えられて歩んで来たことに感謝しながら、これからもまた、皆さんと繋がって行けたら良いなと思っています。皆さん、これからもどうぞよろしくお願致します!! (緑川)

会員募集

かいいんぼしゅう
会員の種類と年会費について

個人	正会員	1,000円
	賛助会員	500円
団体	正会員	5,000円
	賛助会員	1,000円

NPO法人
レインボーネットの活動を
応援して下さる方を
募集しています。



発行

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)
岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号
はあとびるセンターみやこコア
TEL 0193-64-7878
FAX 0193-77-3921
E-mail info@mjyako-rainbow.com
URL http://www.mjyako-rainbow.com/
発行責任者 会長 刈屋裕之
企画・編集
レインボーネット事務局